

令和2年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果（香川県分）

- ◇ 令和2年10月1日現在で実施された令和2年国勢調査の「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」結果とその概要が、令和4年7月22日に総務省統計局から公表されました。
- ◇ 今回の香川県版「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」の公表内容は、総務省統計局の公表内容より、香川県分の結果を基に、その概要をまとめたものです。
- ◇ 集計結果について、総務省統計局では主要な統計表における労働力状態、従業地・通学地の「不詳」を、あん分等によって補完した「不詳補完値」を算出し、使用しています。今回の香川県版についても、総務省統計局に合わせ、不詳補完値を基にまとめています。
- ◇ 本文及び図表中の数値は表章単位未満で四捨五入しており、割合など各種計算値の算出に当たっては単位未満を含んだ数値を用いています。また、割合は特に注記の無い限り分母から不詳を除いて算出し、又は不詳補完値により算出しています。

《用語の解説》

① 常住地による人口（夜間人口）

調査時（令和2年10月1日現在）に調査の地域に常住している人口。

いわゆる、国勢調査の人口。【香川県：950,244人（令和2年10月1日現在）】

常住地による人口（夜間人口）	
従業も通学もしていない	← 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」
自市区町村（で従業・通学）	
自宅（で従業）	
自宅外（の自市区町村で従業・通学）	
他市区町村（で従業・通学）	
県内（他市区町村で従業・通学）	
他県（で従業・通学）	

② 従業地・通学地による人口（昼間人口）

就業者又は通学者が従業・通学している場所（従業地・通学地）による人口であり、次式により算出される。

[A市の昼間人口 = A市の夜間人口 - A市からの流出口 + A市への流入人口]

③ 昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の比率。つまり、100を超えるときは（通勤・通学人口の）流入超過、100を下回るときは流出超過を示している。

[昼夜間人口比率 = 昼間人口 / 夜間人口 × 100]

④ 流入人口と流出口

A市の「流入人口」とは、A市外に常住しA市に通勤・通学している人口をいい、A市の「流出口」とは、A市に常住しA市外へ通勤・通学している人口をいう。

1 常住地による従業地・通学地別人口

従業又は通学をする者の割合が上昇

- 令和2年10月1日現在の香川県の人口（950,244人）のうち、従業地・通学地別の割合をみると、「自市区町村」が45.8%（435,091人）、「他市区町村」が16.7%（158,223人）、「従業も通学もしていない」が37.6%（356,930人）と、常住している自市区町村内で従業・通学している者の割合が最も高かった。
- 香川県の人口に占める割合を平成27年と比べると、「自市区町村」が0.9ポイントの上昇、「他市区町村」が0.6ポイントの上昇となり、従業又は通学をする者の割合は上昇となっている。一方、「従業も通学もしていない」は1.5ポイントの低下となっている。

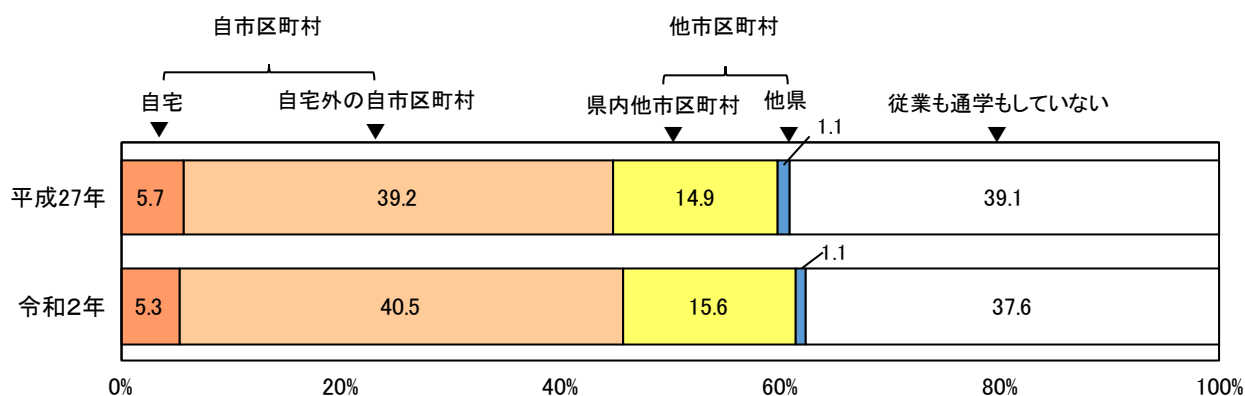
[表1、図1]

表1 常住地による従業地・通学地別人口及び割合(平成27年～令和2年)

従業地・通学地	実数(人)		増減数(人)	割合(%)		ポイント差
	平成27年	令和2年	平成27年～令和2年	平成27年	令和2年	平成27年～令和2年
常住地による人口(夜間人口)	976,263	950,244	-26,019	100.0	100.0	0.0
従業も通学もしていない	381,572	356,930	-24,642	39.1	37.6	-1.5
自市区町村	438,386	435,091	-3,295	44.9	45.8	0.9
自宅	55,435	50,703	-4,732	5.7	5.3	-0.3
自宅外	382,951	384,388	1,437	39.2	40.5	1.2
他市区町村	156,305	158,223	1,918	16.0	16.7	0.6
県内	145,775	148,206	2,431	14.9	15.6	0.7
他県	10,530	10,017	-513	1.1	1.1	0.0
うち就業者	476,626	480,066	3,440	100.0	100.0	0.0
自市区町村	338,530	339,657	1,127	71.0	70.8	-0.3
自宅	55,435	50,703	-4,732	11.6	10.6	-1.1
自宅外	283,095	288,954	5,859	59.4	60.2	0.8
他市区町村	138,096	140,409	2,313	29.0	29.2	0.3
県内	130,490	133,157	2,667	27.4	27.7	0.4
他県	7,606	7,252	-354	1.6	1.5	-0.1
うち通学者	118,065	113,248	-4,817	100.0	100.0	0.0
自市区町村(自宅外)	99,856	95,434	-4,422	84.6	84.3	-0.3
他市区町村	18,209	17,814	-395	15.4	15.7	0.3
県内	15,285	15,049	-236	12.9	13.3	0.3
他県	2,924	2,765	-159	2.5	2.4	0.0

(注) 不詳補完値による。

図1 常住地による従業地・通学地別割合(平成27年・令和2年)



(注) 不詳補完値による。

2 市町別、常住地による従業地・通学地別人口

他市区町村へ通勤・通学する者が多いのは、宇多津町、三木町、多度津町など

- 常住地による人口（夜間人口）のうち、「他市区町村へ通勤・通学する者」の割合を市町別にみると、宇多津町(40.7%) が最も高く、次いで三木町(33.1%)、多度津町(32.8%)などで割合が高くなっている。
- これに対して、「他市区町村へ通勤・通学する者」の割合が低い市町をみると、直島町(3.9%) が最も低く、次いで高松市(7.1%)、小豆島町(8.0%) などとなっている。

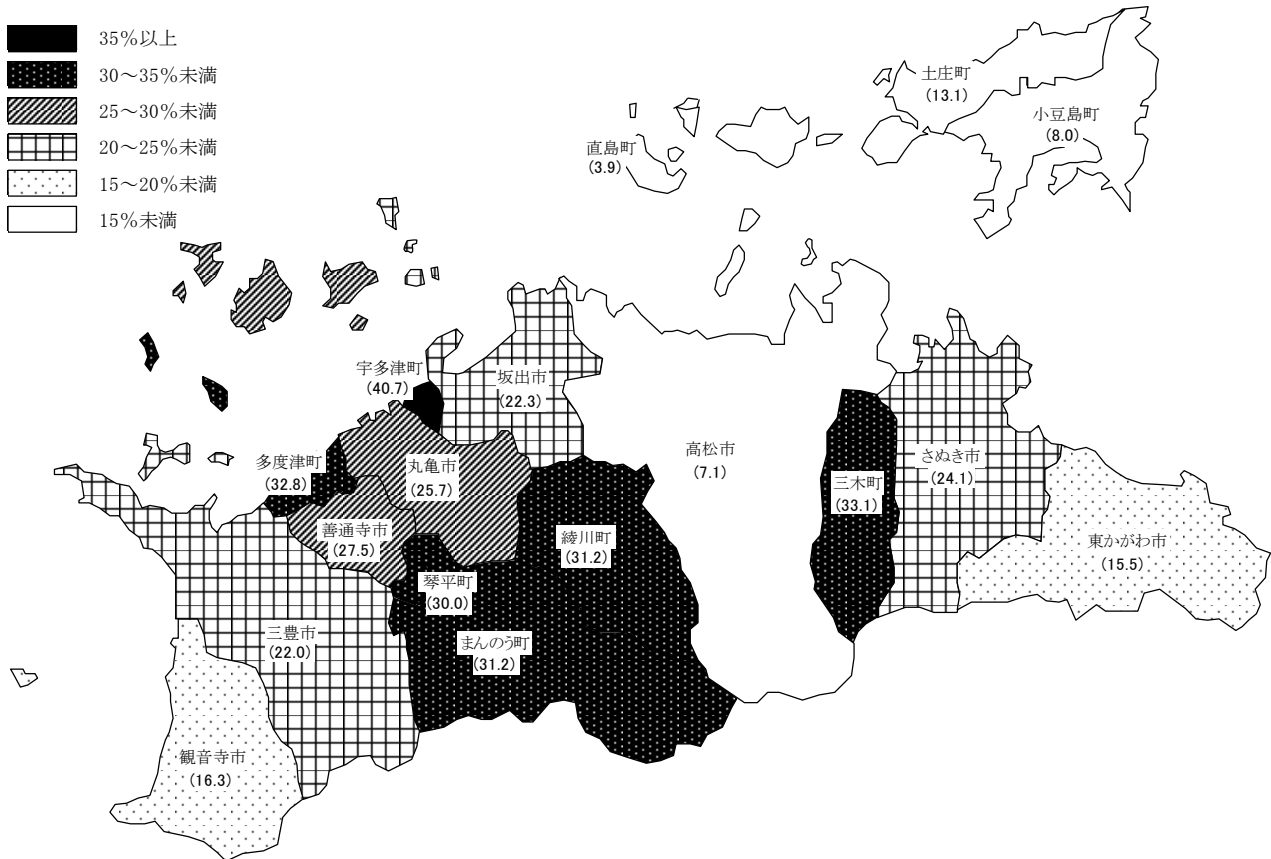
[表2、図2]

表2 市町別、常住地による 従業地・通学地別人口（令和2年）

	実数(人)									割合(%)							
	総数 (夜間人口)	従業も通学もしていない	自市区町村			他市区町村			総数 (夜間人口)	従業も通学もしていない	自市区町村		他市区町村				
			自宅	自宅外	県内	他県	自宅	自宅外			県内	他県					
香川県	950,244	356,930	435,091	50,703	384,388	158,223	148,206	10,017	100.0	37.6	45.8	5.3	40.5	16.7	15.6	1.1	
高松市	417,496	151,027	236,871	18,304	218,567	29,598	25,809	3,789	100.0	36.2	56.7	4.4	52.4	7.1	6.2	0.9	
丸亀市	109,513	40,283	41,077	4,983	36,094	28,153	27,030	1,123	100.0	36.8	37.5	4.6	33.0	25.7	24.7	1.0	
坂出市	50,624	21,116	18,241	2,435	15,806	11,267	10,709	558	100.0	41.7	36.0	4.8	31.2	22.3	21.2	1.1	
善通寺市	31,631	11,845	11,077	1,686	9,391	8,709	8,482	227	100.0	37.4	35.0	5.3	29.7	27.5	26.8	0.7	
観音寺市	57,438	21,289	26,768	4,693	22,075	9,381	7,806	1,575	100.0	37.1	46.6	8.2	38.4	16.3	13.6	2.7	
さぬき市	47,003	19,065	16,610	2,849	13,761	11,328	10,982	346	100.0	40.6	35.3	6.1	29.3	24.1	23.4	0.7	
東かがわ市	28,279	12,011	11,891	2,181	9,710	4,377	3,843	534	100.0	42.5	42.0	7.7	34.3	15.5	13.6	1.9	
三豊市	61,857	23,779	24,490	4,668	19,822	13,588	12,939	649	100.0	38.4	39.6	7.5	32.0	22.0	20.9	1.0	
土庄町	12,846	5,508	5,650	958	4,692	1,688	1,600	88	100.0	42.9	44.0	7.5	36.5	13.1	12.5	0.7	
小豆島町	13,870	6,305	6,460	937	5,523	1,105	1,039	66	100.0	45.5	46.6	6.8	39.8	8.0	7.5	0.5	
三木町	26,878	9,903	8,087	1,444	6,643	8,888	8,709	179	100.0	36.8	30.1	5.4	24.7	33.1	32.4	0.7	
直島町	3,103	1,143	1,839	142	1,697	121	50	71	100.0	36.8	59.3	4.6	54.7	3.9	1.6	2.3	
宇多津町	18,699	6,191	4,897	557	4,340	7,611	7,392	219	100.0	33.1	26.2	3.0	23.2	40.7	39.5	1.2	
綾川町	22,693	8,885	6,727	1,560	5,167	7,081	6,917	164	100.0	39.2	29.6	6.9	22.8	31.2	30.5	0.7	
琴平町	8,468	3,448	2,479	754	1,725	2,541	2,466	75	100.0	40.7	29.3	8.9	20.4	30.0	29.1	0.9	
多度津町	22,445	8,515	6,578	934	5,644	7,352	7,169	183	100.0	37.9	29.3	4.2	25.1	32.8	31.9	0.8	
まんのう町	17,401	6,617	5,349	1,618	3,731	5,435	5,264	171	100.0	38.0	30.7	9.3	21.4	31.2	30.3	1.0	

注) 不詳補完値による。

図2 市町別、常住地からみた 他市区町村へ通勤・通学する者の割合(令和2年)



○ また、常住地から他市区町村へ従業・通学する者について、市町毎に通勤・通学先をみると、隣接する市町への通勤・通学者が最も多い。

[表3]

表3 市町別、常住地からみた通勤・通学先(他市区町村)の上位3市町

常住地	他市区町村 への 通勤・通学 者数	通勤・通学先(※)					
		第1位		第2位		第3位	
		市町名	実数 (人)	市町名	実数 (人)	市町名	実数 (人)
高松市	29,598	坂出市	5,035	さぬき市	4,909	三木町	4,543
丸亀市	28,153	坂出市	6,891	高松市	5,717	善通寺市	3,476
坂出市	11,267	高松市	4,335	丸亀市	3,024	宇多津町	1,297
善通寺市	8,709	丸亀市	3,080	高松市	995	三豊市	984
観音寺市	9,381	三豊市	4,795	四国中央市	1,249	丸亀市	810
さぬき市	11,328	高松市	7,569	東かがわ市	1,616	三木町	1,419
東かがわ市	4,377	さぬき市	1,864	高松市	1,600	三木町	277
三豊市	13,588	観音寺市	5,731	丸亀市	2,127	善通寺市	1,181
土庄町	1,688	小豆島町	1,370	高松市	217	岡山市	13
小豆島町	1,105	土庄町	897	高松市	130	-	-
三木町	8,888	高松市	6,507	さぬき市	1,512	東かがわ市	275
直島町	121	高松市	48	玉野市	39	岡山市	19
宇多津町	7,611	坂出市	2,631	丸亀市	2,345	高松市	1,176
綾川町	7,081	高松市	4,510	丸亀市	724	坂出市	713
琴平町	2,541	丸亀市	582	まんのう町	424	善通寺市	386
多度津町	7,352	丸亀市	2,869	善通寺市	1,042	高松市	825
まんのう町	5,435	丸亀市	1,457	高松市	837	善通寺市	553

(注) 不詳補完値による。

※通勤・通学者数が10人未満の市町は除外している

3 市町別、従業地・通学地による常住地別人口

他市区町村からの通勤・通学者が多いのは、宇多津町、坂出市、琴平町など

- 従業地・通学地による人口（昼間人口）のうち、「常住地が他市区町村である者」の割合を市町別にみると、宇多津町(37.1%)が最も高く、次いで坂出市(32.7%)、琴平町(31.9%)などで割合が高くなっている。
- これに対して、「常住地が他市区町村である者」の割合が低い市町をみると、土庄町(9.1%)が最も低く、次いで高松市(9.5%)、小豆島町(11.1%)などとなっている。

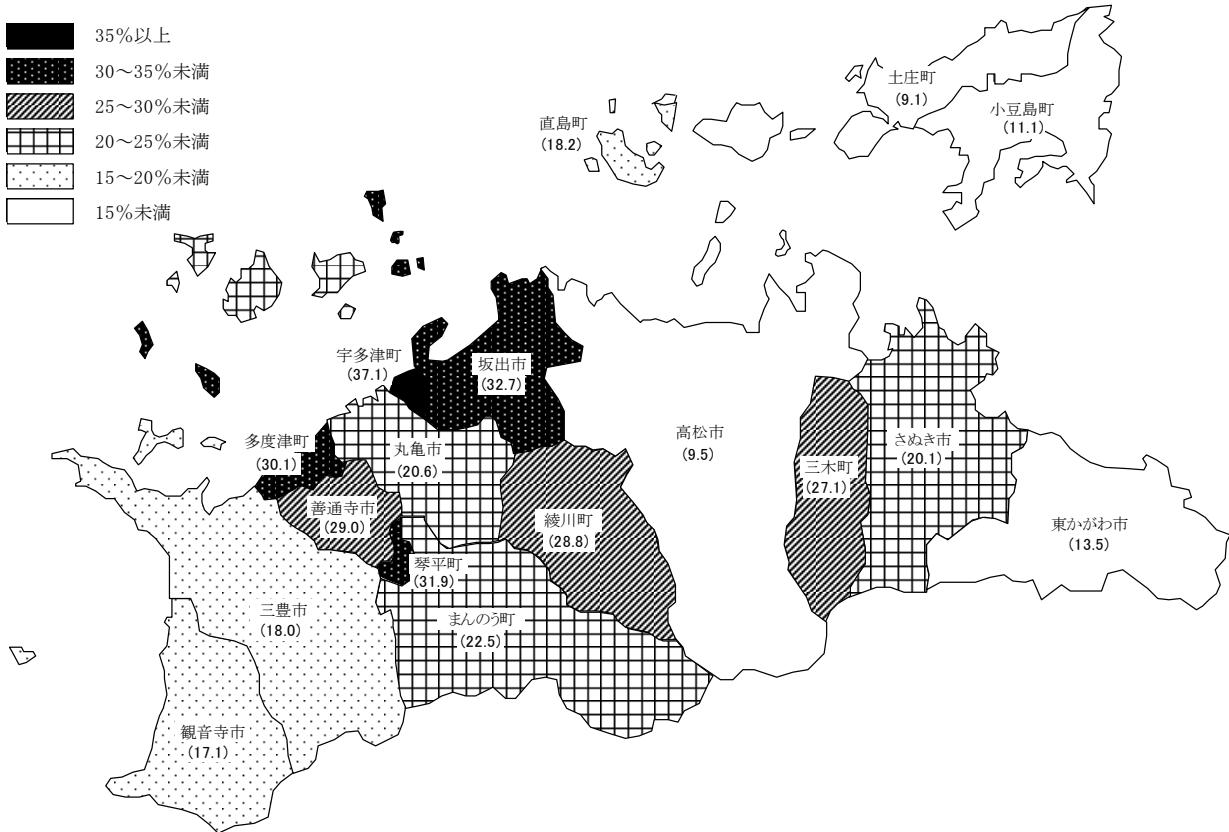
[表4、図3]

表4 市町別、従業地・通学地による 常住地別人口（令和2年）

	実数(人)								割合(%)							
	総数 (昼間人口)	従業も通 学もしてい ない	自市区町村			他市区町村			総数 (昼間人口)	従業も通 学もしてい ない	自市区町村			他市区町村		
			自宅	自宅外		県内	他県	自宅			自宅外		県内	他県		
香川県	951,414	356,930	435,091	50,703	384,388	159,393	148,206	11,187	100.0	37.5	45.7	5.3	40.4	16.8	15.6	1.2
高松市	428,831	151,027	236,871	18,304	218,567	40,933	36,580	4,353	100.0	35.2	55.2	4.3	51.0	9.5	8.5	1.0
丸亀市	102,455	40,283	41,077	4,983	36,094	21,095	20,238	857	100.0	39.3	40.1	4.9	35.2	20.6	19.8	0.8
坂出市	58,439	21,116	18,241	2,435	15,806	19,082	18,470	612	100.0	36.1	31.2	4.2	27.0	32.7	31.6	1.0
善通寺市	32,298	11,845	11,077	1,686	9,391	9,376	9,002	374	100.0	36.7	34.3	5.2	29.1	29.0	27.9	1.2
観音寺市	57,973	21,289	26,768	4,693	22,075	9,916	8,243	1,673	100.0	36.7	46.2	8.1	38.1	17.1	14.2	2.9
さぬき市	44,648	19,065	16,610	2,849	13,761	8,973	8,623	350	100.0	42.7	37.2	6.4	30.8	20.1	19.3	0.8
東かがわ市	27,648	12,011	11,891	2,181	9,710	3,746	2,917	829	100.0	43.4	43.0	7.9	35.1	13.5	10.6	3.0
三豊市	58,879	23,779	24,490	4,668	19,822	10,610	9,895	715	100.0	40.4	41.6	7.9	33.7	18.0	16.8	1.2
土庄町	12,271	5,508	5,650	958	4,692	1,113	1,071	42	100.0	44.9	46.0	7.8	38.2	9.1	8.7	0.3
小豆島町	14,361	6,305	6,460	937	5,523	1,596	1,497	99	100.0	43.9	45.0	6.5	38.5	11.1	10.4	0.7
三木町	24,688	9,903	8,087	1,444	6,643	6,698	6,551	147	100.0	40.1	32.8	5.8	26.9	27.1	26.5	0.6
直島町	3,646	1,143	1,839	142	1,697	664	60	604	100.0	31.3	50.4	3.9	46.5	18.2	1.6	16.6
宇多津町	17,623	6,191	4,897	557	4,340	6,535	6,390	145	100.0	35.1	27.8	3.2	24.6	37.1	36.3	0.8
綾川町	21,918	8,885	6,727	1,560	5,167	6,306	6,219	87	100.0	40.5	30.7	7.1	23.6	28.8	28.4	0.4
琴平町	8,701	3,448	2,479	754	1,725	2,774	2,723	51	100.0	39.6	28.5	8.7	19.8	31.9	31.3	0.6
多度津町	21,595	8,515	6,578	934	5,644	6,502	6,344	158	100.0	39.4	30.5	4.3	26.1	30.1	29.4	0.7
まんのう町	15,440	6,617	5,349	1,618	3,731	3,474	3,383	91	100.0	42.9	34.6	10.5	24.2	22.5	21.9	0.6

(注) 不詳補充値による。

図3 市町別、従業地・通学地からみた 他市区町村から通勤・通学する者の割合(令和2年)



○ また、従業地・通学地へ他市区町村から従業・通学する者について、県内市町毎に通勤・通学元（常住地）をみると、隣接する市町からの通勤・通学が最も多い。

[表5]

表5 市町別、従業地・通学地からみた常住地(他市区町村)の上位3市町

従業地・通学地	他市区町村からの通勤・通学者数	常住地(※)					
		第1位		第2位		第3位	
		市町名	実数(人)	市町名	実数(人)	市町名	実数(人)
高松市	40,933	さぬき市	7,569	三木町	6,507	丸亀市	5,717
丸亀市	21,095	善通寺市	3,080	高松市	3,051	坂出市	3,024
坂出市	19,082	丸亀市	6,891	高松市	5,035	宇多津町	2,631
善通寺市	9,376	丸亀市	3,476	三豊市	1,181	多度津町	1,042
観音寺市	9,916	三豊市	5,731	四国中央市	1,244	丸亀市	866
さぬき市	8,973	高松市	4,909	東かがわ市	1,864	三木町	1,512
東かがわ市	3,746	さぬき市	1,616	高松市	958	三木町	275
三豊市	10,610	観音寺市	4,795	丸亀市	1,752	善通寺市	984
土庄町	1,113	小豆島町	897	高松市	148	-	-
小豆島町	1,596	土庄町	1,370	高松市	104	-	-
三木町	6,698	高松市	4,543	さぬき市	1,419	東かがわ市	277
直島町	664	玉野市	392	岡山市	133	倉敷市	57
宇多津町	6,535	丸亀市	2,557	坂出市	1,297	高松市	987
綾川町	6,306	高松市	3,475	丸亀市	1,159	坂出市	449
琴平町	2,774	丸亀市	789	まんのう町	518	善通寺市	419
多度津町	6,502	丸亀市	2,455	三豊市	1,055	善通寺市	884
まんのう町	3,474	丸亀市	1,167	善通寺市	470	琴平町	424

(注) 不詳補完値による。

※通勤・通学者数が10人未満の市町は除外している

4 市町別、昼夜間人口比率

昼夜間人口比率は直島町、坂出市が高く、まんのう町、三木町で低い

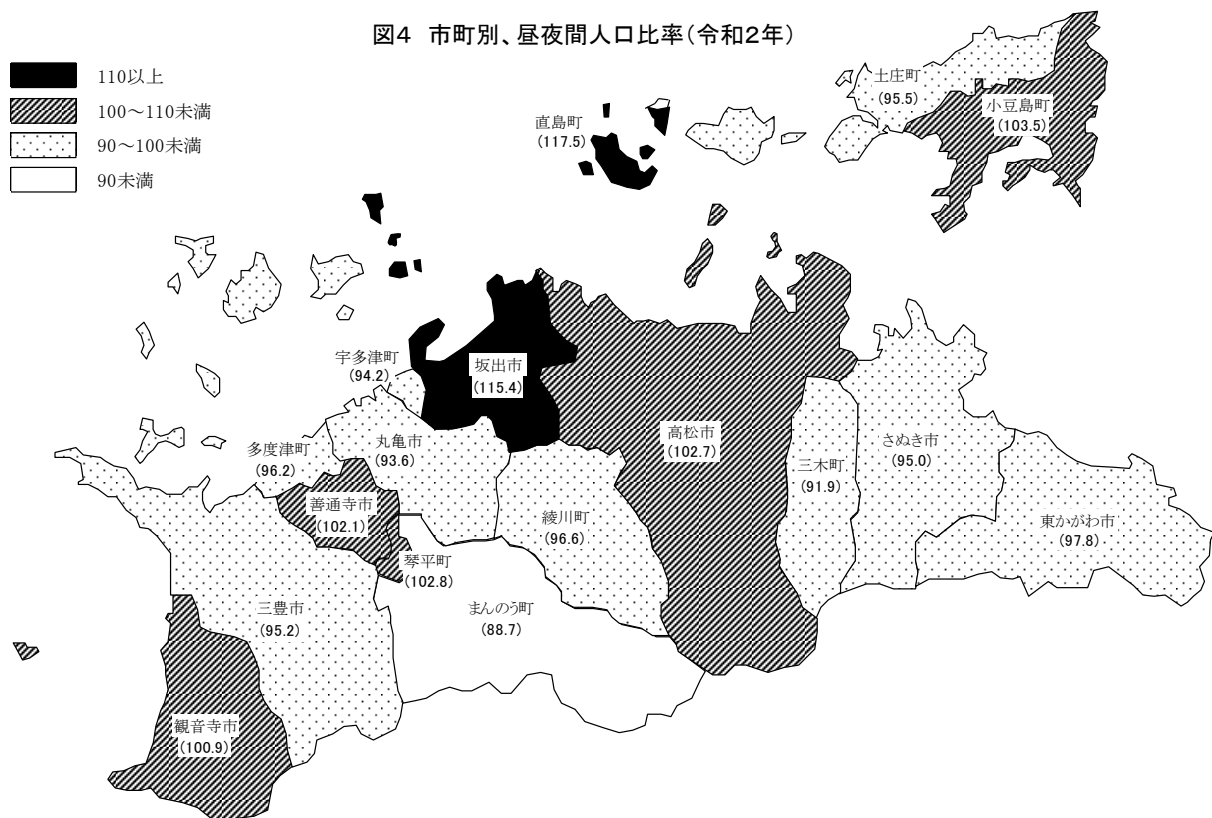
- 昼夜間人口比率(夜間人口 100 人当たりの昼間人口の割合)を市町別にみると、直島町(117.5)が最も高く、次いで坂出市(115.4)など、4市3町で100を超えている(流入超過)。一方、まんのう町(88.7)で90を下回っており、次いで三木町(91.9)など4市6町で100を下回っている(流出超過)。なお、昼夜間人口比率が100を超えている近隣の市町では昼夜間人口比率が低くなる傾向がある。
- 平成27年と比べると、小豆島町(+3.7ポイント)、三木町(+1.8ポイント)、まんのう町(+1.8ポイント)などで上昇している一方、土庄町(△3.7ポイント)、宇多津町(△2.9ポイント)などで低下している。

[表6、図4]

表6 市町別、昼間人口・夜間人口及び昼夜間人口比率(平成27年、令和2年)

	昼間人口(人)		夜間人口(人)		昼夜間人口の差(人)		昼夜間人口比率		ポイント差 R2-H27
	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	
香川県	978,862	951,414	976,263	950,244	2,599	1,170	100.3	100.1	-0.1
高松市	435,300	428,831	420,748	417,496	14,552	11,335	103.5	102.7	-0.7
丸亀市	103,907	102,455	110,010	109,513	-6,103	-7,058	94.5	93.6	-0.9
坂出市	61,174	58,439	53,164	50,624	8,010	7,815	115.1	115.4	0.4
善通寺市	33,414	32,298	32,927	31,631	487	667	101.5	102.1	0.6
観音寺市	59,408	57,973	59,409	57,438	-1	535	100.0	100.9	0.9
さぬき市	48,029	44,648	50,272	47,003	-2,243	-2,355	95.5	95.0	-0.5
東かがわ市	30,164	27,648	31,031	28,279	-867	-631	97.2	97.8	0.6
三豊市	61,456	58,879	65,524	61,857	-4,068	-2,978	93.8	95.2	1.4
土庄町	13,896	12,271	14,002	12,846	-106	-575	99.2	95.5	-3.7
小豆島町	14,845	14,361	14,862	13,870	-17	491	99.9	103.5	3.7
三木町	24,921	24,688	27,684	26,878	-2,763	-2,190	90.0	91.9	1.8
直島町	3,668	3,646	3,139	3,103	529	543	116.9	117.5	0.6
宇多津町	18,412	17,623	18,952	18,699	-540	-1,076	97.2	94.2	-2.9
綾川町	22,443	21,918	23,610	22,693	-1,167	-775	95.1	96.6	1.5
琴平町	9,327	8,701	9,186	8,468	141	233	101.5	102.8	1.2
多度津町	22,526	21,595	23,366	22,445	-840	-850	96.4	96.2	-0.2
まんのう町	15,972	15,440	18,377	17,401	-2,405	-1,961	86.9	88.7	1.8

(注) 不詳補完値による。



5 流入人口・流出人口（15歳以上人口）

香川県への流入人口は1,942人減少、流出人口は513人減少

- 香川県を従業地・通学地として他県から流入する15歳以上人口は11,187人（香川県を従業地・通学地とする15歳以上の者（543,781人）の2.1%）で、平成27年に比べ1,942人（△14.8%）の減少となっている。

流入元について都道府県別の割合を見ると、徳島県からの流入が31.4%、愛媛県からが26.9%、岡山県からが23.6%などとなっており、四国3県と岡山県の割合が86.1%を占めている。

- 一方、他県を従業地・通学地として香川県から流出する人口は10,017人（香川県を常住地とする15歳以上就業者・通学者（542,611人）の1.8%）で、平成27年に比べ513人（△4.9%）の減少となっている。

流出先について都道府県別の割合を見ると、愛媛県への流出が28.5%、岡山県へが25.3%、徳島県へが17.5%などとなっており、四国3県と岡山県の割合が74.1%を占めている。

[表7]

表7 香川県の15歳以上流入・流出人口(平成27年～令和2年)

	流入・流出人口(人)		増減数(人)	割合(%)		ポイント差
	平成27年	令和2年	平成27年 ～令和2年	平成27年	令和2年	R2-H27
香川県への流入人口 (常住地が県外)	13,129	11,187	-1,942	100.0	100.0	0.0
岡山県から	2,700	2,638	-62	20.6	23.6	3.0
徳島県から	3,751	3,518	-233	28.6	31.4	2.9
愛媛県から	3,108	3,005	-103	23.7	26.9	3.2
高知県から	559	473	-86	4.3	4.2	0.0
その他都道府県から	3,011	1,553	-1,458	22.9	13.9	-9.1
香川県からの流出人口 (従業地・通学地が県外)	10,530	10,017	-513	100.0	100.0	0.0
岡山県へ	2,356	2,534	178	22.4	25.3	2.9
徳島県へ	1,721	1,756	35	16.3	17.5	1.2
愛媛県へ	2,600	2,858	258	24.7	28.5	3.8
高知県へ	435	275	-160	4.1	2.7	-1.4
その他都道府県へ	3,418	2,594	-824	32.5	25.9	-6.6

注) 不詳補完値による。